



2023年2月3日

各 位

会 社 名 T I S株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 安史
(コード番号 3626 東証プライム市場)
問合せ先 経営管理部長 木村 高宏
(Tel. 03-5337-4569)

投資有価証券売却益（特別利益）の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年2月3日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の売却について決議しました。これに伴い、2023年3月期第4四半期に特別利益を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2022年11月2日の2023年3月期第2四半期決算発表時に開示した2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の通期連結業績予想を修正することとしましたので、あわせてお知らせいたします。なお、本件に伴う配当予想の修正はありません。

記

1. 投資有価証券売却益（特別利益）の計上について

(1) 投資有価証券の売却理由

資産効率化及び財務体質の向上を図る一環として実施するものです。

当社は、政策保有株式について、貸借対照表計上額の連結純資産に対する比率を10%水準に引き下げることを目標として縮減に努めており、本件はその早期実現に資するものと位置付けています。

(2) 投資有価証券売却の内容

①売却する投資有価証券

当社保有の上場有価証券2銘柄

②売却総額（予定）

148億円

③投資有価証券売却益（予定）

128億円

④売却日（予定）

2023年2月3日

⑤売却手法

立会外市場取引

2. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2023年3月期の連結通期業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	505,000	59,000	60,500	39,800	163.25
今回発表予想 (B)	505,000	59,000	60,500	52,000	213.50
増減額 (B-A)	—	—	—	12,200	
増減率 (%)	—	—	—	30.7%	
(ご参考) 前期連結実績 (2022年3月期)	482,547	54,739	55,710	39,462	157.69

(2) 修正の理由

上記1に記載のとおり、2023年3月期第4四半期において128億円の特別利益を計上する見込みとなったことに加え、当第3四半期に計上した特別利益（投資有価証券売却益）43億円及び当第4四半期に計上予定の当社の海外子会社であるMFEC Public Company Limitedにおける事業構造転換の加速に向けた取組みの一環としての同社連結子会社の株式譲渡に伴う特別利益（子会社株式売却益）24億円の影響を踏まえ、親会社株主に帰属する当期純利益に関する予想を修正するものです。

売上高、営業利益及び経常利益については、概ね2022年11月2日に発表した予想値に沿って推移していることから、現時点での修正はありません。今後、修正が必要と判断された場合には速やかにお知らせいたします。

(参考) 株主還元及び配当政策に関する考え方

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、中長期の経営視点から事業発展につなげる適正な内部留保を確保しつつ、連結業績を勘案したうえで、安定した配当を継続していくことを基本方針としています。

この方針のもと、中期経営計画（2021-2023）においては、成長投資の推進・財務健全性の確保・株主還元の強化のバランスのもと、総還元性向の目安をこれまでの40%から45%に引き上げ、1株当たりの配当金を継続的に充実させることを方針としています。なお、当社は、株主の皆様への利益配分を事業成長に応じて継続的に充実化させていくためには、一時的な損益に影響されない営業活動から得られた利益（法人税等・非支配株主利益控除後）をベースとして株主還元を実施することが望ましいと考えています。

上記のとおり、本日付で親会社株主に帰属する当期純利益の予想値を引き上げましたが、これは投資有価証券売却益及び子会社株式売却益という一時的な損益のみを反映したものです。一時的な損益に影響されない営業活動から得られる利益については概ね2022年11月2日に発表した予想値に沿って推移しており、当該予想値、現時点における配当予想及び株主還元を目的として取得済の自己株式約55億円相当から算出した総還元性向は44.5%となる見込みであるため、2023年3月期配当予想である1株当たり年間配当金47円（うち、1株当たり期末配当金は32円）に変更はありません。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上